

2024年度つちうら MaaS 実証実験 結果報告

2024 年度は、神立駅西口地区において、移動手段確保を目的としたグリーンスローモビリティの実証運行を中心に活動した。また、土浦市・かすみがうら市内において同車の観光活用実験も併せて実施した。

1. 神立駅西口地区におけるグリーンスローモビリティ実証運行

(1) 運行概要

神立駅西口側地域において、通常のコバスが通れない狭い道を中心に既存公共交通機関を補完する輸送サービスとして、近距離移動を得意とするグリーンスローモビリティの実証運行を実施した。運行経路は、新規路線として千代田ショッピングモールを拠点に、土浦市の神立病院、かすみがうら市の中央出張所等を経由する「千代田ショッピングモール循環線」と、2023 年度の運行で定期運行を望む声が多く挙がった「神立駅西口地区循環」の2路線を運行した。また、両線の運行経路を一部ラップさせ、乗り換えにより JR 神立駅や商業施設等への移動手段を確保し、地域内モビリティ運行の可能性を探った。

(2) 運行期間

2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 2 月 28 日（金）のべ 104 日間

※土日祝及び年末年始を除く

(3) 運行実績

①千代田ショッピングモール循環

経路上に千代田ショッピングモールや神立病院といった地域の主要な施設を組み込んだことで、買い物や公共施設へのアクセスでの利用者が 6 割となった。利用者の 7 割以上が女性で、5 回以上利用された方もいるなど地域の生活に定着していた。

延べ運行本数	624 便
延べ利用者数	924 人
1 日あたり利用者数	9.1 人/日
1 便あたり利用者数	1.5 人/便

②神立駅西口地区循環

神立駅西口地区循環は、買い物や通勤など日常利用のニーズが高く、運行初日から 1 日 20 人以上の方が利用し、地域内での需要の高さが伺えた。2024 年度も運行終了後に運行継続を望む要望が寄せられている。2024 年度の運行本数は 6 便/日、2023 年度が 7 便/日であったため、1 日あたりの利用者数は前年より少ないが、1 便あたりの利用者数は同等となった。

延べ運行本数	609 便
延べ利用者数	1,666 人
1 日あたり利用者数	16.3 人/日（前年比：△1.5 名）
1 便あたり利用者数	2.7 人/便（前年比：同値）

③乗り継ぎ需要

全体利用者に対し、神立駅西口地区循環から千代田ショッピングモール循環に乗り継いだ利用者は 1 割程度、千代田ショッピングモール循環から神立駅西口地区循環に乗り継いだ利用者は 1.7 割程度と共に低い結果にとどまった。公共交通機関の乗り継ぎ利用に対する利便性の認識が低いことが利用促進を妨げている一方、乗り継ぎを利用した方からは、「買い物がし易くなった」「乗り継ぎが同じバス停で良い」「乗り継ぎの待ち時間がなくて良い」等の声が寄せられた。

2. グリーンスローモビリティの観光活用実験

各種イベント開催に併せ、グリーンスローモビリティの観光面における実証運行を行った。利用実績は下記のとおりで、イベントとグリーンスローモビリティとの親和性は高く、満席となる便が出るなど、利用者からの人気や満足度は高かった。

イベント名	運行日	運行場所	乗車人数	備考
囲酒屋神立 ドリンクラリー	10 月 12 日（土） 10 月 19 日（土）	神立駅西口地区	42 人	前年比 △22 名 ※雨天による利用減
土浦カレー フェス・産業祭	11 月 23 日（土） 11 月 24 日（日）	産業祭会場～ カレーフェス会場	253 人	前年比+39 名
土浦の雛祭り	2 月 22 日（土）～ 3 月 2 日（日） ※土日祝運行	まちかど蔵～市立博物館 ～モール 505～まちかど蔵	315 人	前年比 △52 名 ※運行日数減による 利用減

<その他>

1 月 26 日、イオンモール土浦で開催の「わくわく！いばらきの乗りもの大集合！2025」にてグリーンスローモビリティ 1 両を展示し、来場者につちうら MaaS や実証運行 PR を実施。運行案内パンフレットを 126 枚配布。

以 上

